

「岡山大式人工肘関節の臨床成績の検討」へのご協力をお願い

～当科において人工肘関節置換術を受けられた方へ～

a. 当該研究の意義、目的、方法

岡山大学整形外科では、1980年頃から、世界に先駆けて高度に破壊された肘関節再建の方法として人工肘関節を開発し、臨床応用してきました。1986年からは京セラI型ステム付き、1996年からはその改良型であるJACE型人工肘関節、2007年からは半接合型であるPROSNAP人工肘関節を開発し、特に関節リウマチ患者の肘機能再建に臨床応用しています。本研究では当科で開発された人工肘関節の臨床成績を検討することを目的とします。具体的には、過去および最終診察時の臨床データ（疼痛、肘関節可動域、機能、筋力、安定性、変形、神経障害の有無、合併症、追加手術の詳細）および経時的に撮像された肘関節単純X線画像を用いて、人工肘関節による肘関節機能再建における有用性、安全性、耐久性を検討します。そのためにあなたのカルテから上記の情報を抽出し研究のために使用させていただきます。

京セラI型ステム付き人工肘関節は世界的にも成績が良好であり、貴重な長期成績を報告できます。また、JACE型、PROSNAP型についても、その短期・中期成績を検討することにより、手術手技の改良や新規人工肘関節の開発のための貴重なデータとなることが期待されます。また、人工肘関節置換術を受ける患者に対する術前説明用の資料としても有用です。

b. 保有する個人情報に関して情報公開の求めに応じる手続き（手数料が必要な場合はその額）

カルテから抽出されたデータは匿名化して、今後20年、30年後の追跡調査のための貴重な資料として引き続き岡山大学整形外科で保存いたします。この研究においてあなたの個人情報が外部に出ることはありません。また、過去に人工肘関節置換術を受けられた方およびそのご家族に関しては、ご本人の承諾があればその治療成績をご希望に応じて公開いたしますので岡山大学病院整形外科外来にてその旨、お申し出ください。担当者が対応いたします。なお研究結果はあなたの個人情報がわからない形にして論文や学会発表、インターネットに公開しますのでご了承ください。

c. 問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成25年8月31日までの間に当院整形外科外来もしくは下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 機能制御学講座 人体構成学分野

職名：准教授 氏名：西田 圭一郎

学外電話番号：086-235-7273 (岡山大学整形外科学教室)